



・発行・
京都障害者
スポーツ会
振興会

題字 芝田 徳造

京都府障害者スポーツ指導者研修会

スポーツに感謝、

良き出会いと笑顔に包まれて

城陽市スポーツ推進委員 谷口富士夫

学生時代からスポーツが好きでした。中・高校生時はサッカー、社会人になり軟式野球やテニス、バレーボールなど休日のほとんどをスポーツに費やして来ました。今でもほぼ毎週ソフトボールで汗をかきます。

その思い込みが、間違いと気付くことができたのが、「城陽市障害児・者スポーツ大会」の審判をした時です。

知的障害の参加者が、ドッチビーのディスクをうまく投げられたときの笑顔。車いすの女性がリレーを走りきった時に見せた充実した顔。大玉ころがしで勝利したときチームの歓声と拍手。

身体を動かさし、目標に一生懸命に向かう時の気持ち、その瞬間は障害の有無に、まるで関係ないので、スポーツを楽しんでいる感じが、まるで勝れたり、記録を更新したり、自分自身でやり遂げられたと感じた時にも十分生ま

れると改めて気付くことができず。そして、それがチームだとその楽しさも増してくることも。

私の中で、もう一つ障害者について学ぶ機会となったのが『障害者差別解消法』です。2016年4月から施行され、合理的配慮を行うことが制度化されました。この法律の解説や研修を受ける機会があり、あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うという「インクルーシブな社会」の理念に共感しました。

城陽市スポーツ推進委員の定例会議で今回の「京都府障害者スポーツ指導者研修会」への参加を促され、5日間の研修日程への出席が可能となったことから、前述した思いと共に参加を決めました。

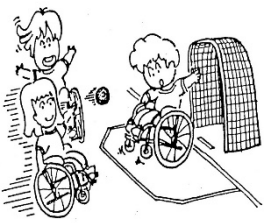
初級の机上研修は障害に関わる概論が多く、また実技研修は初めての競技ばかりでした。年齢を重ねた私は、机の上の研修はあまり得意ではありません。ただただ知識として身についたのか実感ができていませんが、先生方の丁寧な講習はありがたいものでした。

実技で一番楽しかったの

は、車いすハンドボールです。チームプレーを重視したパスルールや危険を回避するルールは素晴らしいと感じました。地元のチームと研修生チームと実際にゲームも体験しました。ゴールするとハイタッチで喜び合い、おかげで研修生は一緒に一体感を高めることができました。本当にチームゲームの良いところでした。

最終日の『つどい』への参加で、準備、運営、そして実技を経験させていただきました。毎月の開催、そして500回を超える継続の力に頭が下がる思いです。会場の各所で笑顔があふれていて、本当にスポーツの魅力が存分に発揮されていました。

最後に、この研修で世話になった皆さまに感謝するとともに、一緒に研修を修了された皆さんと、またどこかで再会することを楽しみにしています。ありがとうございました。



行事予定	2月	11(日・祝)	雪あそびのつどい	花背山の家	来月のつどいは
		13(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		17(土)	京都市ゆうあいボウリング大会	MKボウル上賀茂	
		18(日)	京都マラソン2018	京都市内コース	
			障害者水泳のつどい	伏見港公園	
	25(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	3 / 11	
	3月	4(日)	乙訓障害者スポーツのつどい		向日市民体育館
		10(土)	第29回全国車いす駅伝競走大会 開会式等		グランドプリンスホテル京都
		11(日)	第29回全国車いす駅伝競走大会競技・閉会式	京都市内駅伝コース	
	京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX 075-712-7010 http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2017年11月17日に一部更新)				第2 日曜日

障害者スポーツ 指導者研修を受講して

谷 萌子

障害者スポーツ指導者研修を受講し、発達障がいと知的障がいは文言の違だけでない事を知りました。引きこもり等の精神障がいは先天性以外に、虐待等、周囲からの影響もあることなど、自分も障がい者でありながら理解できていなかったことの多さにビックリしました。また、就職しても休みがちになったりすることなどは、サポートを家族にお願いしても、世間体を気にされてか、なかなか協力が得られないことがあることなどを聞き、まだまだ障害者差別意識があるのが残念です。それとスポーツのつどいや自分が大会に出場した時の事を考えると、参加者の方に支援が必要なことを行い、私に出来る事があれば役に立ちたいと思います。



ボランテニアで参加して 自然に笑顔があふれて

仏教大学一回生
出井遙菜

サークルのボランテニア活動の紹介より、今回スポーツのつどいのボランテニアとして参加させていただきました。私は障がいを抱えている方と関わることが初めてでした。役に立つことが私にできるのか、足手まといになってしまわないかなど、初めはさまざまな不安がありました。

しかし、ボッチャの体験の時にいつもボランテニアとして参加されている方に話しかけてもらったり、会場の準備の時も準備するものや、どこで何の競技が行われているかなど詳しく教えていただいたり、スポーツのつどいが始まると他の大学から初めて参加される方とお話させていただいたり、スタッフのみなさんがあたたかくて安心してボランテニアに参加させていたことができてきました。今回は初めてと言うことでさまざまなコーナ

の体験をさせていただきました。私はボッチャ、卓球バレー、パラバレー、スラローム、車いすハンドボールを体験させていただきました。どのコーナーも障がいを抱えている、持っていないという事は全く関係なく、自然と笑顔になれるような、誰でも楽しめる競技ばかりでした。しめる競技ばかりでした。車いすハンドボールで使われる車いすは足の後ろに当たる部分にベルトを張って足が巻き込まれないように工夫されていたり、卓球バレーをする際、手が不自由な方でも楽しめるように足でボールをはじけるようになっていたり、椅子が用意されていたりと、細部まで気遣いがされていきました。

ことができました。非常に充実した活動でした。今後参加させていただきたくも今回の活動では、主に自分が体験することが多かったですが、次回参加させていただく時は利用者の方のサポートをしつかり行い、今回学んだことを次回に活かしていかれたらと思います。

* * * * *

『大会記録』

第15回京都障害者

チャンピオン卓球大会

日時 平成30年1月28日

会場 京都市障害者スポーツセンター

各部 優勝・準優勝・第3位の順

男子I部

高橋利也(中京区)

今中 健(左京区)

中川敬之助(西支援)

男子II部

杉田柁治(東山総合)

内藤 茂(山科区)

岡田高明(山科区)

男子III部

右田晟矢(宇治支援)

上藤良二(上京区)

福留航希(宇治支援)

サウインドテニス(右京区)

米澤浩一(右京区)

三浦和樹(北区)

女子I部

今井紋加(宇治支援)

松田沙知(左京区)

女子II部

島寄実幸(下京区)

松田結里(南区)

女子III部

岡田一葉(右京区)

村上若江(左京区)

大野優生(城陽支援)

サウインドテニス(福知山市)

『お知らせ』

京都府障害者スポーツ 指導者研修会

日時 平成30年

2月11日(日)・12日(月)・17日(土)・18日(日)

4日とも午前・午後

会場 京都学園大学

亀岡キャンパス

亀岡市曾我部町南条大谷

主催 京都府

内容 障がい者スポーツの意義と理念、ボランテニア概論、障がい者福祉概論、手話研修、卓球バレー、車いすバスケット等

受講対象

府内に在勤・在学する障害者スポーツの振興に熱意を有する18歳以上の人

費用 2500円(テキスト代)

申込 京都障害者スポーツ振興会まで問い合わせ下さい。